

文京区公立小・中学校教員公募について

文京区教育委員会は、東京都内の公立学校に勤務している教員を対象とした教員公募を実施します。

1 実施する公募枠

- (1) 小全教員枠（主任教諭）
- (2) 中学校（各教科）教員枠（主任・主幹教諭）
- (3) 特別支援学級教員枠（主任教諭）

2 募集する人員

- (1) 小全枠（主任教諭）
区立小学校主任教諭：小全・理科・養護（各若干名）
- (2) 中学校（各教科）枠（主任・主幹教諭）
区立中学校主任教諭：国語・数学・技術・家庭・音楽・保健体育（男）・英語・養護（各若干名）
区立中学校主幹教諭：家庭・保健体育（男）（各若干名）
※異動の状況によっては募集しない教科がある可能性があります。
- (3) 特別支援学級教員枠（主任教諭）
区立小学校特別支援学級等教員：知的固定・情緒固定・情緒教室（各若干名）
区立中学校特別支援学級等教員：知的固定・情緒固定（各若干名）
※異動の状況によっては募集しない種別がある可能性があります。

3 応募要件

- (1) 令和9年3月31日現在、都内公立小中学校に勤務する教員で、現任校実勤務年数が3年以上の者を対象とする。（令和4年度以降の4級職選考合格者は、主任教諭としての実勤務年数を合算する。）
- (2) 対象地区の教育施策、対象学校の特色ある学校づくりを理解し、高い関心や意欲のある者を対象とする。
- (3) 公立学校教員を対象とした他の公募（都立学校の公募も含む）に重複して応募することはできない。
- (4) 定期異動実施要綱の「第5 異動の方法 1 異動地域の指定・ステージ制の活用」に照らし、異なる三つの地域を経験していない者又は二つのステージを経験していない者は、経験のある地域に含まれる地区に応募することはできない。
- (5) 公募に応募できない者
 - ア 教育管理職、教育管理職候補者及び令和8年度教育管理職選考受験者
 - イ 令和8年度4級職選考受験者（現在主幹教諭で指導教諭を受験する者を含む。）
 - ウ 令和8年10月1日現在、休職中又は育児休業中の者
 - エ 令和8年度に在外教育施設派遣期間中の者、東京都との人事交流協定書により国立大学法人の附属学校等に勤務する者
 - オ 令和9年度から、降任を予定している者
 - カ 令和9年度に育児休業を予定している者（育児休業取得時期及び期間による。）
- (6) 令和8年度主任教諭選考受験者は主任教諭として応募することはできない。

(7) 所属長および所属する教育委員会の推薦を得られた者を対象とする。ただし、必異動対象教員（現任校で、実勤務年数6年以上の者）については、推薦がなくても応募できる（応募用紙の提出先は所属長とする。）。

4 文京区教育施策

文京区教育ビジョン「個が輝き共に生きる文京の教育」の実現に向け、次のことに取り組んでいます。

＜持続可能な社会を見据えた新しい未来の創り手の育成＞

○新しい未来に向けた教育活動の推進

＜学校教育における知・徳・体のバランスのとれた力の育成＞

○確かな学力の定着

○豊かな人間性の育成

○健康・体力の増進

○保・幼・小・中の連携・接続

○特別支援教育の充実

5 文京区が求める教員像

＜次代を担う学校リーダーとして、区の教育施策を理解し、教育課題の解決に向け、学校経営に参画する教員＞

○地域や保護者と連携して、特色ある学校づくりを推進する教員（小・中）

○タブレット端末や ICT を積極的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」の実現を推進する教員（小・中）

＜特別支援学級・教室（特別支援学校）の指導経験があり、区の教育施策を理解し、中心となって推進することができ得る教員＞

○インクルーシブ教育システム構築に向けて、中心となり得る教員（小・中）

○特別支援教育の充実に向けて中心となり得る教員（小・中）

6 応募方法

＜提出書類＞

ア 公立小中学校教員公募応募用紙

イ 文京区公立学校教員公募選考書類（文京区様式1）

＜提出期限＞

ア 所属教育委員会及び所属長から指定された期日まで

イ 令和8年10月1日（木）から令和8年10月9日（金）まで

＜提出方法＞

ア 所属長に提出

イ 交換便又は郵送による

※交換便：宛先「文京区教育委員会教育指導課」、封筒に朱書きにて「公募書類在中」と記載すること。

※郵送：住所「〒112-8555 東京都文京区春日1-16-21」、宛先は同上。

7 選考方法

(1) 書類選考（上記書類ア・イ）

(2) 面接 ※面接の日時は、所属教育委員会及び所属長を通じて連絡します。



文京区教育委員会教育指導課